

2018 年 3 月 アイーナにファブスペースがオープン!!

盛岡市のアイーナに、デジタルものづくりスペースがオープンします！



Fab ってなに？

デジタルものづくり豆知識

- Fab (ファブ、ファブリケーション)

英語で「製作」を意味する「fabrication」の省略形。「デジタルファブリケーション」とは、デジタル工作機器を使用し、デジタルデータをもとにさまざまな素材を加工し、成形する技術のこと。

- デジタル工作機器

コンピュータで制御されて動作する工作機器のこと。

二次元、三次元の設計ソフト(モデリングソフト)などを使って設計したデータで正確に加工することができます。

最新のデジタル工作機器が誰でも気軽に使用できる、**ファブリケーションスペース(ファブスペース)**が盛岡駅西口のアイーナ3階に設置されます。

コンピュータやデジタル工作機器が進化してものづくりが身近になり、個人が「ものの作り手(メイカー)」になることで、社会全体の創造性や多様性を高める動き「メイカムーブメント」の拠点として、今年3月にオープンする予定です。



左上：レーザーカッターで木材をカットする様子。
左下：デジタル刺繍マシンでイラストを刺繍にできる。
右：3Dプリンター。

整備予定のデジタル工作機器

以下の工作機器が整備される予定です。



3D プリンター

ABS や PLA 樹脂を高温で溶かしたものを積層して立体物を製造するデジタル機器。

従来は金型を必要としたプラスチック製品を気軽に製造することができます。



レーザー加工機

レーザー光を利用して、木材、アクリル板、皮革、紙などを正確にカットすることや、素材表面に図形を彫刻することができる工作機。

複雑な形状でも図面どおりの戦で正確に早く切ることが可能になり、自由な発想で製品をデザインすることができるようになります。



デジタル刺繍マシン

図形や文字などを自由にデザインしたものを、布地に刺繍することができるマシン。色別にデザインを分割して多色の刺繍も可能で、オリジナルな刺繍を気軽に作ることができます。

(マシンだけではオリジナル刺しゅうはできません。マシン本体のみで可能なのは、内蔵された規定の刺しゅうのみです。オリジナル刺しゅうをするには別途パソコンと PC ソフト「刺しゅうプロ」が必要です。)

注：機器の画像はイメージで、実際のものとは異なる場合があります。

これらの機器は現在選定中ですので、実際に整備される機器とは異なる可能性があります。

■ ファブスペース

メイカームーブメントの拠点となる、デジタル工作機器を自由に利用できる施設。このような施設には FabLab (ファブラボ) があり、ファブラボはそれぞれが製作したモノのデジタルデータを公開するネットワーク FabLab Network が形成されていて世界中のメイカーが自分でデザインした製造データが公開されています。公開されているデザインデータを使用した新たなモノづくりができるなどシナジー効果があり、ネットワークがどんどん発展しています。

■ メイカームーブメント

3D プリンタやレーザーカッターのようなデジタル工作機械の進歩によって、専門知識を持たない人たちでもモノをデザインし製造できるようになったことから生じたデジタル製造の潮流。このデジタル工作機器を活用してモノづくりをする個人やグループを「メイカー」と呼びます。

このニューズレターは

アイーナに整備されるファブスペースの利用案内や、利用者（メイカー）同士のネットワーク形成を目指して発行するものです。デジタルファブリケーションによるものづくりについて、県内外の情報を発信していきます。